

事業概要

(平成23年度のまとめ)

京都府立図書館

目 次

I 年次概要

1 平成23年度の主な動き	1
2 資料・利用	1

II 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数	2
2 図 書	2
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) 視聴覚資料・障害者用資料	
3 逐次刊行物	3

III 利用の状況

1 開館日数	4
2 入館者数	4
3 登録者数	4
4 個人貸出	4
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供	
5 図書館等への貸出（一括貸出を除く）	5
6 市町村への一括貸出	6
7 調査相談	6
8 対面朗読サービス	6
9 点字・音声資料貸出	7
10 マルチメディア利用	7
11 複写利用	7
12 取寄せ申込みeサービス依頼件数	7
13 ホームページアクセス件数	7

IV 京都府図書館総合目録ネットワーク (K-Libnet) の状況 (24年8月1日現在)	8
--	---

V 事業その他	
1 連絡協力車の運行	9
(1) 搬送の内訳	
(2) 搬送コース	
2 図書館事業等	10
(1) 読書週間記念講演会等の実施	
(2) 子ども読書絵てがみコンテストの実施	
(3) 学校支援事業	
(4) 図書館・読書施設等職員研修の実施	
(5) 他機関との連携	
(6) 館内見学会の実施	
VI 組織及び職員数 (24年4月1日現在)	11
VII 経 費	12
VIII 施設の概要等	12
IX 沿 革	13
X 歴代館長	16
【参考】京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針	17

I 年次概要

1 平成23年度の主な動き

京都府内 26 市町村すべてを結ぶ京都府総合目録ネットワーク (K-Libnet) は、参加館は 67 館であり、蔵書データ提供館は 60 館で、うち横断検索館は年々増加し 49 館となっている。

市町村支援の充実のため市町村図書館・読書施設等の職員の資質向上を図る研修事業の充実について、キャリアに応じて学べるステップ別研修を新設し、「初任者研修」「初級者研修」「中級者研修」を実施した。また、従来から実施している地区別研修については「パネルシアター講習会」「読み聞かせ及び児童書の配架に関する講習会」「健康・医療情報に関する講習会」など幅広い内容の研修を北部・中部・南部会場で実施した。

平成23年4月から利用者の利便性の向上を図るため、祝日開館を実施した。これにより開館日数は287日となり、前年度より16日増加した。

4月に「学校支援セット貸出」をはじめ、府立図書館の子ども読書活動を支援する取組やその活用方法をまとめた「学校支援ポータルサイト」を、当館ホームページに開設した。

8月から受動喫煙防止を一層進めるため、館内の喫煙所を廃止し、建物内全面禁煙を実施した。

平成23年は新館開館10周年目に当たることから、これを記念して11月からエントランスに府立図書館のあゆみを紹介するパネルを展示するとともに、11月22日に記念講演会を開催した。

12月11日には、京都大学研究者等が運営する井戸端サイエンス工房との共催で、新たな本との出会いを体験する図書館ならではのサイエンスイベントとして「サイエンス×ビブリオ ワークショップ」を初めて開催した。

1月には、1900年代初めからのさまざまな音源を国立国会図書館が配信する「歴史的音源」が当館でも利用いただけるようになった。3月には、従来から連携を深めている近隣の京都国立近代美術館と京都市美術館の過去約10年分の展覧会の図録を揃えた美術館特設コーナーを地下1階閲覧室に設置するとともに、2階閲覧室の利用促進のため、新聞データベース活用講座を初めて開催した。

2 資料・利用

(1) 資料数

平成23年度中の資料収集は、購入図書、寄贈図書等を24,197冊受け入れ、蔵書数は863,316冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、272,305冊相当あり、総計の蔵書数は1,135,621冊である。

(2) 貸出

ア 個人貸出

個人貸出は、総数で延べ89,307人、200,510冊である。

イ 図書館等への貸出

府内の市町村立図書館等への貸出（一括貸出を除く）は27,492冊、他府県の公立図書館等への貸出は850冊であり、総数28,342冊である。

ウ 市町村への一括貸出

府内公立図書館等の図書館活動を支援するための貸出文庫が62,576冊である。

Ⅱ 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数

図書数 863,316 冊、逐次刊行物 272,305 冊 (図書換算数)、総資料数 1,135,621 冊

年間収集資料数 図書・視聴覚資料 24,197 冊 (点)

逐次刊行物 399 タイトル (購入分のみ)

2 図書

(1) 資料数

(単位：冊)

区 分		23 年度受入冊数				23 年度末 図書数	うち 児童書	うち 京都資料	うち 外国語資料
		購 入	寄 贈	その他	計				
館内閲覧 個人 貸出用	図書資料	13,446	3,602	569	17,617	743,115	46,988	20,924	19,179
	視聴覚資料	287	59	14	360				
	計	13,733	3,661	583	17,977				
市町村支援用	貸出文庫	6,147	73		6,220	97,683	66,879		5
合 計		19,880	3,734	583	24,197	863,316	113,867	20,924	19,184

(注)外国語資料には、児童書、京都資料の外国語資料を含む。

2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数

(単位：冊、%)

分 類	冊 数	百 分 比
0 総 記	38,102	5.0
1 哲 学	38,170	5.0
2 歴 史	79,859	10.5
3 社 会 科 学	160,209	20.9
4 自 然 科 学	46,701	6.1
5 技 術	53,462	7.0
6 産 業	39,352	5.1
7 芸 術	50,877	6.7
8 言 語	14,018	1.8
9 文 学	150,609	19.7
小 計	671,359	87.8
教 科 書	23,268	3.0
児 童 書	46,988	6.1
そ の 他	24,018	3.1
合 計	765,633	100.0

(3) 視聴覚資料・障害者用資料

視聴覚資料

区 分	23 年度末タイトル数 (点数)
CD	631 (772)
CD-ROM	1,327 (1,450)
DVD	1,815 (1,817)
DVD-ROM	275 (275)
ビデオテープ	3,170 (3,181)
カセットテープ	885 (2,708)
マイクロフィルム	125 (7,763)
マイクロフィッシュ	402 (3,730)
デージー資料	822 (822)
計	9,452 (22,518)

障害者用資料

区 分	23 年度末タイトル数 (点数)	摘 要
大 活 字 本	2,789 (2,789)	
点 字 図 書	372 (1,500)	
デージー資料	822 (822)	「視聴覚資料」の「デージー資料」の再掲
テ ー プ 資 料	885 (2,708)	「視聴覚資料」の「カセットテープ」の再掲

(注) 「大活字本」以外は、(2) 「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

3 逐次刊行物

区 分	新 聞	雑 誌	計
年間購入タイトル数	15	384	399
既存受入タイトル数	100	10,445	10,545

Ⅲ 利用の状況

1 開館日数 287日

2 入館者数 301,341人(1日平均1,050人)

3 登録者数 5,491人

<有効登録者数累計90,473人(京都市内81.7%、その他地域8.7%、他府県9.6%)>

4 個人貸出(利用者登録した個人への貸出)

(1) 貸出者数 延べ89,307人(1日平均311人)

(2) 貸出図書数 200,510冊(1日平均699冊)

内、インターネット貸出待ち登録サービスによる貸出図書数4,209冊

(3) 借受提供(他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供)

(単位:冊)

借 受 先		借 受 冊 数
府 内	市町村立図書館等(①)	1,541
府 外	国立国会図書館(②)	83
	他府県立図書館(③)	566
	他府県内市町村立図書館等(④)	320
	計	969
合 計		2,510

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

八幡市立八幡市民図書館(114)、精華町立図書館(99)、城陽市立図書館(95)、亀岡市立図書館(87)、京都学園大学図書館(82)、向日市立図書館(68)、長岡京市立図書館(64)、大山崎町立中央公民館図書室(62)、綾部市図書館(61)、木津川市立中央図書館(53)、京都市中央図書館(48)、京田辺市立中央図書館(48)、宇治市中央図書館(46)、福知山市立図書館中央館(39)、井手町図書館(39)、宮津市立図書館(38)、南丹市立中央図書館(36)、京都市右京中央図書館(35)、舞鶴市立西図書館(34)、木津川市立山城図書館(34)、京丹後市立あみの図書館(32)、宇治田原町立図書館(32)、久御山町立図書館(29)、与謝野町立図書館野田川分室(28)、京都市醍醐中央図書館(27)、木津川市立加茂図書館(26)、舞鶴市立東図書館(23)、京丹後市立峰山図書館(22)、与謝野町立図書館(21)、京丹後市立図書館久美浜図書室(21)

(2) 国立国会図書館の内訳

東京本館(57)、関西館(24)、国際子ども図書館(2)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

滋賀県(122)、大阪府(94)、兵庫県(50)、奈良県(41)、和歌山県(40)、岡山県(36)、北海道(16)、埼玉県(10)、徳島県(10)、長崎県(9)、福井県(8)、福岡県(8)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

大阪市(51)、堺市(22)、茨木市(17)、枚方市(14)、神戸市(13)、吹田市(11)

5 図書館等への貸出（一括貸出を除く）

(単位：冊)

貸 出 先		貸 出 冊 数	摘 要
府 内	市町村立図書館等（※）	19,325	26 市町村他
	学校図書室	8,167	府立高校 38 校他
	計	27,492	うち、学校支援セット貸出 6,136 冊
府 外	他府県公立図書館・大学等	850	
合 計		28,342	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位：冊、%)

地 域 区 分	貸 出 冊 数	百 分 比
京都市	2,100	10.9
乙訓地域	2,240	11.6
山城地域	6,229	32.2
南丹地域	2,749	14.2
中丹地域	2,899	15.0
丹後地域	2,990	15.5
府立総合資料館	35	0.2
その他	83	0.4
合 計	19,325	100.0

6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸 出 冊 数	摘 要
貸 出 文 庫	62,576	

貸出文庫の内訳

(単位：冊)

教育委員会名	貸 出 冊 数	教育委員会名	貸 出 冊 数	教育委員会名	貸 出 冊 数
向 日 市	961	大 山 崎 町	1,379	木 津 川 市	14
相 楽 東 部 広 域 連 合	3,391	南 丹 市	12,122	福 知 山 市	11,960
綾 部 市	209	宮 津 市	10,075	与 謝 野 町	11,000
伊 根 町	9,150	京 丹 後 市	2,315		

7 調査相談

(単位：件)

区 分	相 談 件 数	摘 要
調 査 相 談	19,265	
マルチメディア相談	100	マルチメディア閲覧室関係で所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	92	
合 計	19,457	

8 対面朗読サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	4	4	4	4	5	4	3	3	4	7	7	12	61
実施時間	8	8	8	8	10	8	6	6	8	14	14	24	122

9 点字・音声資料貸出

(単位：点)

資料区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
C D	12	10	10	10	10	10	10	12	10	23	13	13	143
デイジー	30	19	4	5	4	3	1	1	40	22	12	11	152
合計	42	29	14	15	14	13	11	13	50	45	25	24	295

10 マルチメディア利用

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	29,958	104
CD-ROM 端末	219	1
AV ブース利用	6,576	23
マイクロフィルム	976	3
合計	37,729	

11 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	276,028	白黒 269,573、カラー 6,455
CD-ROM、外部 DB	8,043	貴重書 DB を含む
マイクロフィルム	6,692	
合計	290,763	

12 取寄せ申込み e サービス依頼件数

2,453 件

13 ホームページアクセス数

365,474 件

IV 京都市図書館総合目録ネットワーク
(K-Libnet) の状況 (24年8月1日現在)

図書館・読書施設名	データ提供館		検索館 (データ未提供)
	分散型(横断検索)参加館	集中型参加館	
府立図書館	○		
府立総合資料館	○		
京都市	中央図書館	○	
	右京中央図書館	○	
	伏見中央図書館	○	
	醍醐中央図書館	○	
	北図書館	○	
	左京図書館	○	
	岩倉図書館	○	
	東山図書館	○	
	山科図書館	○	
	下京図書館	○	
	南図書館	○	
	吉祥院図書館	○	
	久世ふれあいセンター図書館	○	
	西京図書館	○	
	洛西図書館	○	
	向島図書館	○	
	醍醐図書館	○	
	久我のもり図書館	○	
子育て支援総合センター	○		
こどもみらい館子育て図書館	○		
移動図書館	○		
向日市立図書館	○		
長岡京市立図書館	○		
大山崎町立中央公民館図書室		○	29,450 件
宇治市中央図書館	○		
城陽市立図書館	○		
久御山町立図書館		○	121,883 件
八幡市立八幡市民図書館	○		
京田辺市立中央図書館	○		
井手町図書館	○		
宇治田原町立図書館		○	74,719 件
木津川市	市立中央図書館	○	116,719 件
	市立加茂図書館	○	59,585 件
	市立山城図書館	○	81,972 件
精華町立図書館	○		
笠置町中央公民館図書室			○
和束町体験交流センター図書室			○
南山城村図書室			○
亀岡市立図書館	○		
南丹市	市立中央図書館	○	
	八木図書室	○	
	日吉図書室	○	
	美山図書室	○	
京丹波町	町立中央公民館図書室	○	23,921 件
	瑞穂支所瑞穂教育分室		○
	和知ふれあいセンター図書室		○
綾部市図書館	○		
福知山市	図書館中央館	○	
	市立図書館三和分館	○	
	市立図書館夜久野分館	○	
	市立図書館大江分館	○	
舞鶴市	市立東図書館	○	98,088 件
	市立西図書館	○	91,473 件
宮津市立図書館		○	106,155 件
与謝野町	町立図書館	○	
	町立図書館野田川分室	○	
	町立図書館加悦分室	○	
伊根町教育委員会図書室			○
京丹後市	市立峰山図書館	○	
	市立図書館大宮図書室	○	
	市立図書館弥栄図書室	○	
	市立あみの図書館	○	
	市立図書館丹後図書室	○	
	市立図書館久美浜図書室	○	
京都ライトハウス情報ステーション			○
京都学園大学図書館		○	162,641 件
合計	49 館	11 館	966,606 件
		60館 (22市町1大学)	7 館

V 事業その他

1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集や、府立高校との機関貸出図書等の搬送を行うため、次の5コースにより26市町村62施設(21府立高校、41図書館・読書施設)へ毎週1回(一部4箇月に1回)、合計245回の運行を実施した。

(1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬 送 冊 数
府立図書館から市町村への搬送	19,325
市町村から府立図書館への搬送	1,541
市町村と市町村との間の搬送	26,397
計	47,263
寄贈図書の搬送	2,679
合 計	49,942

(2) 搬送コース

コース名	順 路
A コース	京都府立図書館→京都学園大学図書館→亀岡市立図書館→南丹高校(→南丹市八木図書室)→南丹市立中央図書館→農芸高校→京丹波町中央公民館図書室(→南丹市日吉図書室→京丹波町和知ふれあいセンター図書室→南丹市美山図書室)→北桑田高校→盲学校→京都ライトハウス情報ステーション→京都府立総合資料館→京都府立図書館
B コース	京都府立図書館→洛水高校→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館→精華町立図書館→国立国会図書館関西館→木津川市立中央図書館→和束町体験交流センター図書室→南山城村図書室→笠置町中央公民館図書室→京都すばる高校→桃山高校→京都府立図書館
C コース	京都府立図書館→東稜高校→東宇治高校→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館図書室→長岡京市立図書館→向日市立図書館→桂高校→京都市中央図書館→京都府立図書館
D コース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→東舞鶴高校→大江高校→福知山市立図書館中央館→工業高校→京都府立図書館
E コース	① 京都府立図書館→宮津市立図書館→与謝野町立図書館(→与謝野町立図書館加悦分室)→加悦谷高校(→与謝野町立図書館野田川分室)→伊根町ほっと館図書情報室(→京丹後市立図書館丹後図書室→京丹後市立図書館弥栄図書室)→峰山高校弥栄分校(→京丹後市立図書館大宮図書室→京丹後市立図書館久美浜図書室)→久美浜高校→京丹後市立峰山図書館 ② →網野高校→京丹後市立あみの図書館→洛西高校→北嵯峨高校→嵯峨野高校→北稜高校→京都府立図書館

2 図書館事業等

(1) 読書週間記念講演会等の実施

例年、読書週間と古典の日になむ講演会を府立総合資料館と連携して開催しているが、平成23年度は10月20日に当館を会場に甲南大学教授田中貴子氏を招き、「謎とき『宇治拾遺物語』～中世説話の世界～」と題してお話をいただいた。併せて、講演に関連した当館所蔵のブックリストを配付し、江戸時代に発行された「宇治拾遺物語」などの古典籍を展示した。

また、府立図書館・府立医科大学附属図書館連携事業として、9月11日に当館を会場として、京都府立医科大学大学院医学研究科教授で同大学附属図書館長の伏木信次氏を講師に迎え、「子どもの脳を守る～環境化学物質はどのような影響を及ぼすか～」を開催した。

11月22日には、新館開館10周年記念講演会として、国際日本文化研究センター教授井上章一氏を講師に迎え、「京都がたどった夢の跡～建築から近代の歴史が見えてくる～」と題して、近代建築からうかがえる意外な京都の歴史について講演いただいた。

なお、以上の3つの講演会は、「第26回国民文化祭・京都2011」協賛事業に位置づけて実施した。

(2) 子ども読書絵てがみコンテストの実施

子どもの読書活動を推進する取組として、平成14年度から「子ども読書絵てがみコンテスト」を京都府図書館等連絡協議会との共催で実施している。第10回「子ども読書絵てがみコンテスト」には、17,000点を超える応募があり、4月16日に京都府庁旧本館において表彰式及び受賞作品の展示を行うとともに、府内23市町村31会場で巡回展示を行った。

(3) 学校支援事業

当館において、府立京都すばる高等学校ビジネス探求科の3年生が5月17日に、2年生が6月16日に、また、10月27日には、府立山城高等学校1年生が当館所蔵資料を活用したフィールドワークを行った。

また、学校における調べ学習等に役立つ図書をテーマごとにセットして貸し出す「学校支援セット貸出」については、学校の声を聞きながら、9月には「防災」、11月には高校版に「伝統文化」や「古典文学」、12月には「自然科学」、3月には高校版に「保育」、小中学校版に「食の安全」、「英語」のテーマを順次追加し充実を図った。

こうした学校支援の総合的な窓口として、4月から「学校支援ポータルサイト」をホームページ上に開設している。

(4) 図書館・読書施設等職員研修の実施

府内図書館等職員を対象に3テーマの地区別研修会をそれぞれ北部・中部・南部で実施した。

「パネルシアター講習会」は9月9日、9月15日、9月27日、「読み聞かせ及び児童書の配架に関する講習会」は、11月4日、11月25日、12月9日、「健康・医療情報に関する講習会」は、1月27日、2月2日、2月10日に実施した。

また、地区別研修以外に図書館員のキャリアに応じたステップ別研修を新設し、初任者研修を5月26日、初級者研修を6月30日、中級者研修を12月14日に実施し、受講者には修了証を発行した。両方の研修をあわせ延べ218名の参加があった。

(5) 他機関との連携

(1) 以外に大学との連携として、1月11日に京都教育大学生が授業の一環として教科書の記述内容の変遷について、当館所蔵の教科書コレクションを活用し研究を行った。

また、12月には京都大学の研究者等が運営する団体との共催で、新たな本との出会いを体験する図書館ならではのサイエンスイベントを初めて開催した。

美術館との連携として、京都国立近代美術館では竹久夢二、京都市美術館ではフェルメール、京都府京都文化博物館及びジェイアール京都伊勢丹美術館「えき」では葛飾北斎の展覧会において、それぞれ関連した当館所蔵ブックリストを作成し配架いただくとともに、当館では、所蔵資料の小展示と図書コーナーの設置をした。

さらに、3月には近隣の京都国立近代美術館と京都市美術館のこれまでの展覧会の図録を揃えた特設コーナーを地下1階閲覧室に設置した。

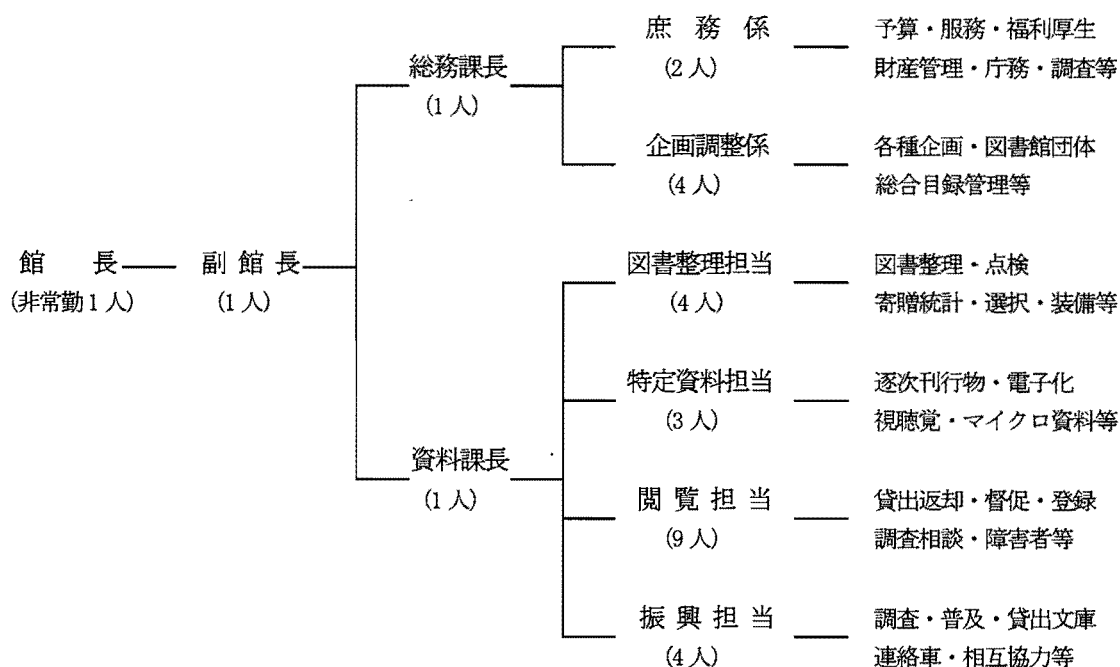
岡崎地域活性化事業との連携として、岡崎地域魅力発見連続講座「オカシルリレー講座」にちなみ、「植治の庭」の小展示を行い、10月末には、「岡崎・あかりとアートのプロムナード」に協力し、当館の夜間ライトアップを行った。

(6) 館内見学会の実施

府立図書館の機能や業務を知っていただくため、毎月第3水曜日に「館内見学会」を開催し、多くの方々に参加いただき好評を得た。

VI 組織及び職員数（平成24年4月1日現在）

常勤職員 29人、非常勤職員 18人（館長1人・再任用2人・嘱託14人・臨時職員1人）



VII 経 費

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図 書 館 費	人 件 費	282,884	
	資 料 費	図 書	60,568
		逐次刊行物	9,432
		計	70,000
	そ の 他	170,499	
	計	523,383	
事 務 局 費	人 件 費	4,364	
	そ の 他	13	
	計	4,377	
合 計		527,760	

VIII 施設の概要等

所在地等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ http://www.library.pref.kyoto.jp/
開 館	平成13年5月11日(建替による開館、府立図書館設置は明治31年)
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上4階地下2階
敷地面積	3,740 m ²
延床面積	7,478 m ² [地下2階2,296 m ² 、地下1階2,049 m ² 、1階1,129 m ²] 2階746 m ² 、3階701 m ² 、4階557 m ²
建 築 費	617,415万円(外構工事・設備・家具等を含む)
利用者用端末	OPAC22台、CD-ROM閲覧端末2台、データベース閲覧端末6台、新聞記事データベース閲覧端末5台、インターネット閲覧端末19台、貴重書データベース閲覧端末2台、映像ブース8台、オーディオブース4台
一般開架	1,710 m ² 。10万冊の開架が可能
書 庫	1,776 m ² 。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能。
開館時間	火曜日～金曜日 午前9時30分～午後7時 土・日曜日、祝日 午前9時30分～午後5時
休 館 日	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日(祝日及び振替休日は開館、翌日が休館) ・毎月第4木曜日(祝日は開館) ・年末年始(12月28日～翌年1月4日) ・特別整理期間

IX 沿 革

明治31年 (1898) 4月	府立京都図書館御苑内創立	昭和26年 (1951) 4月	上京分館開館 (北区紫郊会館内、昭和31年5月 (桜谷文庫内) 移転、同51年5月閉館)
" 6月	業務開始	" 9月	本館大閲覧室屋根修理着工休館
33年 (1900)	夜間開館開始	" 10月	本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
36年 (1903) 10月	巡回図書館 (貸出文庫) 制度開始 (昭和25年3月廃止)	" 11月	本館大閲覧室安全開架式を実施
38年 (1905) 4月	児童室開設 (大正14年3月閉鎖)	" 12月	本館新体制で開館
39年 (1906) 6月	館外貸与規則制定告示	27年 (1952) 6月	本館読書相談係設置
" 11月	新館起工式	" 7月	園部地方分館 (園部町立図書館内、昭和41年11月閉館)、北桑田地方分館 (京北町下中、昭和54年8月 (京北農業協同組合弓削支所内) 仮移転、同55年3月閉館) 及び木津地方分館開館 (旧役場内、昭和29年7月 (木津小学校内)、同38年5月 (町民センター内) 移転、同50年3月閉館)
42年 (1909) 2月	新館竣工	28年 (1953) 4月	本館月曜日休館を実施
" 3月	京都府立京都図書館規則告示	29年 (1954) 2月	伏見分館新築工事着工
" 4月	新館開館	" 9月	京都府立図書館「善本目録」作製
大正 8年 (1919) 1月	本館図書分類目録編纂に着手	30年 (1955) 9月	青年学級文庫実施
11年 (1922) 4月	貸出文庫を増設	32年 (1957) 6月	中京分館 (河原町分館改称) 開館 (烏丸庁舎内、昭和40年1月 (京一商同窓会館) 仮移転、同40年11月 (京都府中京庁舎内) 移転、平成13年3月閉館)
昭和 3年 (1928) 3月	帯出規程告示	35年 (1960) 10月	中京分館館外貸出実施
" 4月	個人貸出実施	38年 (1963) 3月	本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖 蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
" 6月	和漢図書分類目録分類表12冊作製	" 11月	本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
8年 (1933) 10月	京都府中央図書館に指定	" 12月	児童室 土・日曜休室
16年 (1941) 5月	児童室復活開室 (昭和23年4月元貴賓室に移転)	39年 (1964) 1月	本館外装改修工事
22年 (1947) 8月	館外貸出廃止	" 5月	本館夜間・土曜午後再開 (9時まで) 貸出室設置 児童室館外貸出実施土曜日開室 伏見分館館外貸出実施
23年 (1948) 9月	読書ルーム開設 (河原町丸善京都店地下)	" 7月	市内分館 日曜日休館を実施
24年 (1949) 4月	読書相談開始	40年 (1965) 7月	児童室に母親文庫設置
" 6月	河原町分館開館 (河原町丸善京都店地下、昭和31年9月閉館)	" 9月	府教育委員会基本規則一部改正 教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
25年 (1950) 2月	伏見分館開館 (伏見信用金庫2階、昭和29年7月移転、同63年3月閉館)		
" 6月	宮津地方分館開館 (宮津町役場内、昭和28年4月 (宮津市立図書館内)、同32年10月 (労働セツルメント内)、同39年5月 (宮津市立図書館内)、同46年8月 (新宮津市立図書館内) 移転、平成9年3月閉館)		
" 7月	綾部地方分館 (綾部市立図書館内、昭和38年7月 (市民センター内) 移転、同41年9月閉館) 及び峰山地方分館開館 (丹後地方教育局内、昭和30年6月 (丹波公民館内)、同37年9月 (丹波小学校内)、同55年4月 (峰山町中央公民館内) 移転、平成9年3月閉館)		
" 8月	学生自由閲覧室新設		
" 11月	京都府立図書館設置条例公布 (条例第62号)		

昭和41年(1966)11月	自動車文庫命名式(蟻川知事「あゆみ号」と命名) 移動図書館事業開始(平成2年12月終了)	昭和61年(1986)12月	昭和61年度全国公共図書館参考事務研究会開催
42年(1967)7月	本館修繕工事	62年(1987)10月	国立国会図書館とオンライン実施
" 9月	貸出室移転再開	63年(1988)3月	「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
44年(1969)12月	本館夜間閉館時間(7時)に変更	平成元年(1989)10月	図書館資料広域貸出事業開始 「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
46年(1971)8月	本館貸出室の図書を読覧室に統合 第2読覧室開室 貸出方式をブラウン方式に切替	2年(1990)3月	「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
48年(1973)4月	上京分館館外貸出実施	" 4月	連絡協力車事業本格実施
50年(1975)3月	身体障害者用便所・スロープ新設	" 6月	機構改革により本館は4課組織に
" 5月	本館(読覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事 本館読覧室を完全開架式に切替	3年(1991)3月	本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室等配置換)
51年(1976)4月	本館読覧用目録作成に着手	" 6月	マイクロリーダプリンターのサービス開始
" 6月	京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く	" 8月	「連絡協力車だより」発刊
" 7月	児童室改修工事	4年(1992)9月	毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
53年(1978)3月	本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備) 本館読覧用目録整備完了	5年(1993)3月	「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
54年(1979)3月	本館書庫の改修工事	6年(1994)3月	「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
" 4月	国会図書館からの図書貸出制度発足 本館自習室を閉鎖	7年(1995)2月	阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工実施
" 11月	「専門情報機関要覧」刊行	" 5月	本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
56年(1981)9月	移動図書館用電動集密書架設置	" 8月	連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
" 12月	伏見分館改修工事	" 9月	一般図書室の天井一部損傷による補修工実施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
57年(1982)7月	障害者サービス(対面朗読)実施	" 12月	京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
58年(1983)2月	生涯教育推進事業として読書推進講座実施	8年(1996)3月	平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
" 3月	「京都府の公共図書館」刊行 伏見分館ブックポスト設置	" 9月	新府立図書館建設基本計画の概要を発表
" 6月	図書館協力貸出本格実施		
" 7月	新着図書案内発行		
59年(1984)12月	連絡協力車試験的運行開始(2コース)		
60年(1985)7月	国立国会図書館とのオンライン利用実験実施		
61年(1986)8月	京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問		

平成8年(1996)9月	9月補正予算に文化的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新築整備するための基本設計費等を計上	平成13年(2001)5月	京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始(10日) 連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
9年(1997)3月	平成9年度当初予算に実施設計費等を計上	"	6月 京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
"	4月 新館整備のため本館を休館(9.4.1~)	14年(2002)4月	「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
"	9月 本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了	15年(2003)2月	館内完全分煙の実施
10年(1998)3月	府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了 平成10年度当初予算に、新館建設工事費等を計上	18年(2006)4月	インターネット貸出待ち登録サービスを開始
"	7月 総合資料館蔵書との一体的データ化作業開始	"	5月 電話による貸出延長サービスを開始
"	9月 本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門校へ)	"	12月 京都府図書館総合目録ネットワークに、府内全市町村が参加
"	11月 新府立図書館新築工事起工式	19年(2007)3月	取寄せ申込みeサービス開始
11年(1999)2月	平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催	20年(2008)	源氏物語千年紀記念事業(小展示・パネル展等)開催
"	3月 平成11年度当初予算に新築工事費等を計上	"	5月 インターネット貸出延長サービス開始
"	6月 「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用	"	9月 学校支援セット貸出開始
12年(2000)3月	平成12年度当初予算に新築工事費等を計上	21年(2009)3月	所蔵音声資料の音声目録CD-ROM(デジ版)を作成、配布
"	5月 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加	"	6月 府立図書館「岡崎」100周年記念事業(小展示・パネル展等)開催(～平成22年3月)
"	10月 新館竣工	"	9月 府立図書館「岡崎」100周年記念パンフレットを作成
"	11月 仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行(1日)	"	11月 国立国会図書館関西館との連携(連絡協力車の運行)
13年(2001)2月	仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了	22年(2010)4月	学校支援セット貸出小中用CD-ROM目録を作成、配付
"	4月 府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課:2係、資料課:4担当)を施行(1日) 「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都府教育委員会規則第1号)を施行(1日)	"	9月 京都府立医科大学附属図書館と連携した「府民講演会」を開催
"	5月 「京都府立図書館個人貸出規程」等、各種規程を施行(7日) 開館式(10日) 一般開館(11日)	"	10月 新着図書お知らせサービス開始
		23年(2011)4月	祝日開館の実施 学校支援ポータルサイトを開設
		"	8月 館内全面禁煙の実施
		"	12月 京都大学研究者等と連携したサイエンスイベントを開催

X 歴代館長

氏 名	在職期間
三宅 五郎三郎	明治 31 年 4 月 ～ 明治 33 年 3 月
原田 千之助	明治 33 年 3 月 ～ 明治 33 年 12 月
中道 貫一 (館長心得)	明治 34 年 1 月 ～ 明治 34 年 2 月
三宅 五郎三郎	明治 34 年 4 月 ～ 明治 37 年 3 月
湯浅 吉郎	明治 37 年 3 月 ～ 大正 5 年 5 月
北畠 貞顕	大正 5 年 10 月 ～ 昭和 15 年 11 月
内藤 乾吉	昭和 15 年 11 月 ～ 昭和 22 年 7 月
西村 精一	昭和 22 年 7 月 ～ 昭和 38 年 10 月
相馬 利雄	昭和 38 年 10 月 ～ 昭和 45 年 8 月
岩崎 彰之助	昭和 45 年 8 月 ～ 昭和 47 年 4 月
吉川 博明	昭和 47 年 4 月 ～ 昭和 48 年 6 月
庄林 二三雄	昭和 48 年 6 月 ～ 昭和 49 年 4 月
宮本 英男	昭和 49 年 4 月 ～ 昭和 50 年 3 月
布村 忠雄	昭和 50 年 4 月 ～ 昭和 55 年 4 月
長谷川 啓司	昭和 55 年 4 月 ～ 昭和 56 年 4 月
浜辺 一彦	昭和 56 年 4 月 ～ 平成元年 7 月
上田 将 (本庁指導部長兼任)	平成元年 7 月 ～ 平成元年 9 月
林 芳男	平成元年 9 月 ～ 平成 4 年 4 月
柴田 實	平成 4 年 4 月 ～ 平成 6 年 5 月
高木 多喜男	平成 6 年 6 月 ～ 平成 8 年 3 月
五十嵐 一郎	平成 8 年 4 月 ～ 平成 10 年 3 月
西山 隆史 (本庁指導部長兼任)	平成 10 年 4 月 ～ 平成 10 年 5 月
小山 雄一	平成 10 年 6 月 ～ 平成 13 年 3 月
中里 隆憲	平成 13 年 4 月 ～ 平成 16 年 3 月
津守 俊一	平成 16 年 4 月 ～ 平成 19 年 3 月
松田 定	平成 19 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月
勝間 喜一郎	平成 21 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月
宮野 文穂	平成 24 年 4 月 ～

京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針

1 運営基本方針（平成24年8月改定）

- (1) 府内の図書館サービスの中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図り、府全体の図書館サービスの充実を図ります。（府内の図書館サービスの中核的図書館）
 - ①市町村立図書館等との役割分担を踏まえた資料・情報の収集を行い、府内公共図書館の資料保存センターとしての役割を果たします。
 - ②市町村立図書館等と連携し、京都府図書館総合目録ネットワークの活用などにより、府内全域に均質な図書館サービスを提供します。
 - ③市町村立図書館等が行う図書館サービス充実に向けた取組を支援します。
 - ④市町村立図書館等や学校等と連携し、子どもの読書活動の推進を支援します。
- (2) 府民の暮らしや地域の発展に役立つ情報を提供し、府民の様々な活動を支援します。（府民の多様な活動を支援する図書館）
 - ①府民の調査研究に役立つ資料・情報を提供します。
 - ②府民の課題解決を支援するため、的確なレファレンス（調査相談）サービスを提供します。
 - ③多様化する府民ニーズに応える図書館サービスを提供します。
 - ④府民にとって利用しやすい施設づくりを進めます。
- (3) 情報通信技術を積極的に活用し、情報化の進展に対応した高度な情報サービスを提供します。（情報化社会の進展に対応する図書館）
 - ①情報通信技術の発展に対応した情報サービスを提供します。
 - ②電子ネットワークを活用し、積極的に情報を発信します。
- (4) 京都の文化の創造と活性化に寄与するため、関係機関と連携して、京都府立図書館の特色を生かした情報を発信します。（京都から情報を発信する図書館）
 - ①新施設の整備を進めている京都府立総合資料館等との連携により、京都らしさのある資料・情報を発信します。

2 京都府立図書館資料収集方針

京都府立図書館は、府民の調査研究や生涯学習を支援する府内の図書館ネットワークの中核的図書館として、その役割を果たすための資料を収集します。

- (1) 府民の調査研究の拠点及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集します。
 - ①各分野の基本図書、研究書、専門書、資料集、逐次刊行物を収集します。
 - ②調査相談機能を果たすための参考図書等を収集します。
 - ③各分野の調査研究、生涯学習に役立つニューメディア資料を収集します。
- (2) 府内図書館ネットワークのセンターとして、府内の市町村図書館活動振興のための資料を収集します。
 - ①市町村の図書館では揃えにくい専門書・研究書・資料集等を、府内の図書館からのリクエストを踏まえ収集します。
 - ②市町村図書館からのリクエストによる一般書は、他の市町村図書館に所蔵されていないとき、また相互協力による資料提供が難しいときは収集します。
- (3) 京都府立総合資料館が京都資料、歴史資料、美術資料、官庁資料に重点をおいた収集をしていることに鑑み、両館の機能を踏まえて資料を収集します。
 - ①京都関係資料は、市販された資料を中心に収集します。
 - ②歴史、美術分野の資料は、府民の生涯学習及び市町村図書館を支援する上で最低限必要となる基本図書及び参考図書を中心に収集します。
 - ③官公庁出版物は、市販される年次刊行物を中心に収集します。

事業概要（平成23年度のまとめ）

平成24年（2012）9月発行

発行者 京都府立図書館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075) 762-4655 (代)

FAX (075) 762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp/>

印刷 株式会社 大 気 堂

TEL (075) 361-2321

